



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 山崎製パン株式会社
コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL 03-3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	488,368	3.1	10,414	△12.0	11,013	△13.0	7,342	37.0
25年12月期第2四半期	473,631	△0.7	11,840	△24.7	12,656	△20.9	5,358	△31.3

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 8,602百万円 (△8.7%) 25年12月期第2四半期 9,420百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	33.45	—
25年12月期第2四半期	24.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	642,077	280,313	40.2
25年12月期	656,629	275,596	38.6

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 258,339百万円 25年12月期 253,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	16.00	16.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	977,000	0.9	22,500	35.7	24,000	28.2	11,500	1.5	52.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	220,282,860 株	25年12月期	220,282,860 株
26年12月期2Q	804,044 株	25年12月期	798,895 株
26年12月期2Q	219,480,908 株	25年12月期2Q	219,515,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、平成26年8月5日(火)に機関投資家及び証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）におけるわが国経済は、年初より緩やかに回復しておりましたが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動によって、4月に鉱工業生産が大きく落ち込み、景気は一時的に悪化した後、政府の経済政策の下支えもあり、一部に持ち直しの兆しが見えてまいりました。

当業界におきましては、お客様の低価格志向が続く中で販売競争が激化するとともに、原材料価格の上昇や電気料金、燃料等のエネルギーコストの増加もあり、収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。平成26年4月1日の消費税率引上げに際しては、日本パン公正取引協議会において消費税の転嫁及び表示カルテルを結成し、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保に取り組みました。

このような情勢下にあります、当社グループは、製品の品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「春のパンまつり」を活用して主力製品の取扱拡大をはかるとともに、高品質・高付加価値製品の開発に取り組むなど、市場動向に即応した部門別製品施策、営業戦略を推進してまいりました。また、菓子パンを中心にヤマザキの売れ筋製品100品を厳選して重点的に拡販するとともに、6月から「ヤマザキおいしいキャンペーン」を実施し、「ロイヤルブレッド」、「ヤマザキゴールドシリーズ」、「おいしい菓子パン」シリーズなど高品質・高付加価値製品の更なる取扱拡大をはかりました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、品質を強化した競争力のある製品「ヤマザキベストセレクション」を中心に、パン、和洋菓子、調理パン・米飯類の品揃えを強化して魅力ある売場づくりに取り組むとともに、工場エリア毎に再編成したリージョンと各工場の営業部門が一体となって店舗の開発、運営に取り組み、新業態の「ニューヤマザキデイリーストア」の店舗展開を推進しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,883億68百万円（対前年同期比103.1%）となりました。営業利益は104億14百万円（対前年同期比88.0%）、経常利益は110億13百万円（対前年同期比87.0%）で、光熱費や原材料費、物流費等のコスト上昇もあり減益となりましたが、一部の連結子会社が加入しておりましたヤマザキ・サングループ厚生年金基金の代行部分返上に伴う特別利益を計上したことにより、四半期純利益は73億42百万円（対前年同期比137.0%）となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

①食パン部門（売上高484億72百万円、対前年同期比100.7%）

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」に4月から新製品の「ロイヤルブレッド山型」を投入し、品質訴求による販売を強化するとともに、「ヤマザキゴールドシリーズ」の取扱拡大をはかり、高品質・高付加価値戦略を推進しましたところ、平均販売単価の下落に歯止めがかかり、売上は前年同期を上回りました。

②菓子パン部門（売上高1,684億68百万円、対前年同期比100.3%）

菓子パンは、主力製品が伸び悩む中、高品質・高付加価値戦略として3月から「おいしい菓子パン」シリーズを発売して売上の底上げをはかり、ミニパンのコンビニエンスストアチェーン向けオリジナル対応の強化やドーナツの新製品「ドーナッツ」の寄与もあり、前年同期の売上を確保することができました。

③和菓子部門（売上高322億15百万円、対前年同期比102.4%）

和菓子は、串団子や大福が好調に推移するとともに、蒸しパンや中華まんが順調に推移し、売上は堅調でした。

④洋菓子部門（売上高609億10百万円、対前年同期比103.4%）

洋菓子は、主力製品の不振やコンビニエンスストアでのPBスイーツ強化の影響により売上は伸び悩みましたが、㈱不二家による㈱スイートガーデンの連結子会社化もあり、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高672億14百万円、対前年同期比117.4%）

調理パン・米飯類は、コンビニエンスストアチェーンとの取引が拡大したことに加え、大徳食品(株)の新規連結による麺類の売上増もあり、売上は大きく伸長しました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 763 億 2 百万円、対前年同期比 100.5%）

製菓・米菓・その他商品類部門は、(株)不二家の中国事業が伸長するとともに、ヤマザキ・ナビスコ(株)、(株)東ハトのビスケットが好調でした。

以上の結果、食品事業の売上高は 4,535 億 84 百万円（対前年同期比 103.2%）、営業利益は 109 億 4 百万円（対前年同期比 91.7%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、競合激化により既存店売上が低下する厳しい状況の中、直営店の増加により営業総収入は 303 億 16 百万円（対前年同期比 102.0%）となりましたが、コスト増を吸収することができず、営業損失は 15 億 5 百万円（前年同期は 10 億 95 百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は 44 億 67 百万円（対前年同期比 103.8%）、営業利益は 6 億 44 百万円（対前年同期比 94.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の資産合計は 6,420 億 77 百万円で、前連結会計年度末に対して 145 億 52 百万円減少しました。流動資産は 2,112 億 56 百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して 76 億 43 百万円減少しました。固定資産は 4,308 億 20 百万円で、繰延税金資産の減少等により、前連結会計年度末に対して 69 億 8 百万円減少しました。負債合計は 3,617 億 63 百万円で、前連結会計年度末に対して退職給付引当金の減少等により 192 億 68 百万円減少しました。純資産は 2,803 億 13 百万円で、前連結会計年度末に対して利益剰余金の増加等により、47 億 16 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 40.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 162 億 78 百万円に加え、減価償却費 186 億 37 百万円、売上債権の減少額 225 億 92 百万円などにより 450 億 55 百万円のプラスとなり、前年同期に対しては 107 億 89 百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより 161 億 56 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては 25 億円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより 131 億 56 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては 7 億 66 百万円支出が減少しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 2 四半期連結会計期間末残高は 949 億 52 百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては 157 億 46 百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は緩やかな回復を続けていくとみられますが、消費税率引上げの影響による実質可処分所得の減少が個人消費を下押しする懸念もあり、景気の先行きは予断を許しません。

当業界におきましては、製パン業界における消費税転嫁カルテルが結成され、有効に機能して消費税の転嫁は順調に行われましたが、お客様の低価格志向が続く中で販売競争が激化するとともに、小麦粉、乳製品などの原材料価格の高止まりに加え、電気料金や燃料等のエネルギーコストの上昇もあり、厳しい収益環境が続くことが予測されます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き主力製品の品質向上と高品質・高付加価値製品の開発に取り組み、部門別製品施策、営業戦略を推進してまいります。食パンは、引き続き「ロイヤルブレッド」、「ヤマザキゴールドシリーズ」の育成に取り組みとともに、健康志向のバラエティブレッドや主力ブランドの「芳醇」、「ダブルソフト」の取扱拡大をはかり、安定した売上確保をはかってまいります。菓子パンは、「おいしい菓子パン」シリーズをはじめとする高品質・高付加価値製品の開発に取り組み、品質訴求による売場づくりの提案を強化してまいります。また、和洋菓子を含め、ヤマザキの売れ筋製品の「厳選 100 品」を重点的に拡販し、効率の良い生産・販売・物流体制を構築してまいります。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、昨年7月、山崎製パン本体に吸収合併以来、当社グループ総力を挙げて、パン、和洋菓子の価値ある製品の提供を通し、業績の向上に努めてまいりましたが、さらに米飯や調理パン、麺類の徹底した品質の向上を実現するため、当社生産企画本部にB S M（米飯、サンドイッチ、麺類）研究企画マーケティング部を立ち上げ、米飯、サンドイッチ、麺類の製造技術の開発、品質向上に徹底して取り組み、当社グループの総力を結集した技術力、開発力によって、真に価値ある製品とサービスの提供を行い、売上の向上を期してまいります。また、コンビニエンスストア機能の充実強化をはかるとともに、新業態の「ニューヤマザキデイリーストア」の開発を推進し、新機能を各店舗に導入して、店舗競争力の強化をはかってまいります。

さらに、当社本社、工場また関係会社において小委員会による「なぜなぜ改善」と「2本立ての5S」による業務改善に取り組み、内部管理体制の充実と業務の効率化をはかり、所期の目標達成をめざして努力してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（環境対策引当金）

当社グループで保管するポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の処理費用につきましては、発生時に費用処理する方針でございましたが、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令」に伴い、事業者によるポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分期間が平成39年3月31日まで延長されたため、第1四半期連結会計期間より見込額を引当計上しております。

これに伴い、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は122百万円減少しております。

（法人税率の変更等による影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、当連結会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成27年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異について、前連結会計年度の37.8%から35.4%に変更されております。

この税率変更により繰延税金資産の純額が594百万円減少し、当連結会計年度に費用計上された法人税等が同額増加しております。

（ヤマザキ・サングループ厚生年金基金の代行部分の返上）

当社の連結子会社の一部である(株)サンデリカほか8社が加入しておりますヤマザキ・サングループ厚生年金基金は、確定給付企業年金法に基づき、平成26年4月1日付で厚生労働大臣から厚生年金基金の代行部分の過去分返上の認可を受けました。

これに伴い、連結子会社は「退職給付会計に関する実務指針（中間報告）」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号）第44-2項に基づき、当該認可の日において代行部分にかかる退職給付債務の消滅およびこれに伴う損益を認識し、当第2四半期連結累計期間に9,614百万円を特別利益として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,538	97,979
受取手形及び売掛金	98,596	77,222
商品及び製品	10,668	11,337
仕掛品	596	696
原材料及び貯蔵品	9,897	8,590
繰延税金資産	3,541	3,114
その他	13,540	12,759
貸倒引当金	△480	△444
流動資産合計	218,900	211,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	341,586	342,461
減価償却累計額	△252,865	△255,466
建物及び構築物(純額)	88,720	86,995
機械装置及び運搬具	439,944	442,887
減価償却累計額	△368,745	△373,904
機械装置及び運搬具(純額)	71,198	68,983
工具、器具及び備品	26,837	27,306
減価償却累計額	△23,465	△23,864
工具、器具及び備品(純額)	3,371	3,442
土地	114,656	115,067
リース資産	32,097	30,528
減価償却累計額	△17,673	△17,537
リース資産(純額)	14,423	12,991
建設仮勘定	3,563	6,639
有形固定資産合計	295,934	294,118
無形固定資産		
のれん	17,471	15,711
その他	13,693	12,710
無形固定資産合計	31,165	28,422
投資その他の資産		
投資有価証券	50,952	53,606
長期貸付金	599	561
繰延税金資産	25,767	21,566
その他	35,854	35,173
貸倒引当金	△2,543	△2,628
投資その他の資産合計	110,629	108,279
固定資産合計	437,728	430,820
資産合計	656,629	642,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,725	70,489
短期借入金	60,276	60,926
リース債務	5,367	5,134
1年内償還予定の社債	1,234	1,374
未払法人税等	2,067	5,637
未払費用	35,400	31,776
賞与引当金	3,421	3,938
販売促進引当金	734	343
店舗閉鎖損失引当金	20	4
資産除去債務	32	16
その他	35,501	35,269
流動負債合計	217,781	214,911
固定負債		
社債	2,465	2,958
長期借入金	44,129	37,416
リース債務	9,692	8,697
退職給付引当金	89,485	80,256
役員退職慰労引当金	3,423	3,385
環境対策引当金	—	156
資産除去債務	4,230	4,272
その他	9,824	9,710
固定負債合計	163,251	146,852
負債合計	381,032	361,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	220,019	223,850
自己株式	△808	△814
株主資本合計	239,901	243,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,514	14,594
繰延ヘッジ損益	9	△3
土地再評価差額金	45	44
為替換算調整勘定	△161	△23
その他の包括利益累計額合計	13,407	14,612
少数株主持分	22,287	21,973
純資産合計	275,596	280,313
負債純資産合計	656,629	642,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	473,631	488,368
売上原価	299,510	311,651
売上総利益	174,121	176,716
販売費及び一般管理費	162,280	166,302
営業利益	11,840	10,414
営業外収益		
受取利息	24	66
受取配当金	474	520
固定資産賃貸料	296	288
持分法による投資利益	190	53
雑収入	915	732
営業外収益合計	1,902	1,662
営業外費用		
支払利息	863	727
雑損失	222	336
営業外費用合計	1,086	1,064
経常利益	12,656	11,013
特別利益		
固定資産売却益	34	22
投資有価証券売却益	0	640
厚生年金基金代行返上益	—	9,614
その他	—	19
特別利益合計	35	10,297
特別損失		
固定資産除売却損	780	950
災害による損失	99	821
のれん償却額	—	1,544
その他	159	1,717
特別損失合計	1,040	5,032
税金等調整前四半期純利益	11,651	16,278
法人税等	6,030	8,792
少数株主損益調整前四半期純利益	5,620	7,485
少数株主利益	261	143
四半期純利益	5,358	7,342

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,620	7,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,232	1,109
繰延ヘッジ損益	1	△11
為替換算調整勘定	557	26
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△8
その他の包括利益合計	3,799	1,116
四半期包括利益	9,420	8,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,872	8,547
少数株主に係る四半期包括利益	548	54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,651	16,278
減価償却費	18,992	18,637
災害損失	-	821
のれん償却額	637	2,237
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△434	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	191	517
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,585	△9,229
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△76	△37
受取利息及び受取配当金	△498	△587
支払利息	863	727
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△640
持分法による投資損益 (△は益)	△190	△53
固定資産除売却損益 (△は益)	746	927
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	1
売上債権の増減額 (△は増加)	13,009	22,592
たな卸資産の増減額 (△は増加)	829	△53
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,699	△4,348
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△72	1,973
その他	868	△2,464
小計	40,409	47,327
利息及び配当金の受取額	499	590
利息の支払額	△886	△749
法人税等の支払額	△5,756	△2,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,266	45,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	631	263
有形固定資産の取得による支出	△17,409	△15,785
有形固定資産の売却による収入	139	163
無形固定資産の取得による支出	△1,759	△817
投資有価証券の取得による支出	△1,503	△965
投資有価証券の売却による収入	-	885
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△648
貸付けによる支出	△56	△74
貸付金の回収による収入	49	129
その他	1,251	692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,656	△16,156

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,616	885
リース債務の返済による支出	△2,945	△2,903
長期借入れによる収入	4,754	2,600
長期借入金の返済による支出	△9,700	△10,357
社債の発行による収入	—	1,000
社債の償還による支出	△617	△617
自己株式の取得による支出	△25	△5
配当金の支払額	△3,507	△3,509
少数株主への配当金の支払額	△264	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,922	△13,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	180	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,866	15,746
現金及び現金同等物の期首残高	89,205	79,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,072	94,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	439,602	29,722	4,305	473,631	—	473,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,815	3,219	14,569	20,604	△20,604	—
計	442,417	32,942	18,875	494,235	△20,604	473,631
セグメント利益又は損失(△)	11,888	△1,095	681	11,474	366	11,840

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額366百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	453,584	30,316	4,467	488,368	—	488,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,955	3,456	13,987	19,399	△19,399	—
計	455,540	33,772	18,455	507,768	△19,399	488,368
セグメント利益又は損失(△)	10,904	△1,505	644	10,043	371	10,414

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額371百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位：百万円)

セグメントの 名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	前年同期比
食品事業	食パン	48,149	48,472	100.7%
	菓子パン	167,955	168,468	100.3
	和菓子	31,446	32,215	102.4
	洋菓子	58,882	60,910	103.4
	調理パン・米飯類	57,228	67,214	117.4
	製菓・米菓・その他商品類	75,940	76,302	100.5
	食品事業計	439,602	453,584	103.2
流通事業	29,722	30,316	102.0	
その他事業	4,305	4,467	103.8	
合 計	473,631	488,368	103.1	

(2) 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	44,847	48,375	3,528	7.9%	242	△169	△411	—%
(株)サンデリカ	42,404	44,382	1,977	4.7	450	637	187	41.7
ヤマザキ・ナビスコ(株)	17,403	17,746	343	2.0	1,168	1,189	20	1.8
(株)ヴィ・ド・フランス	16,570	16,345	△224	△1.4	368	359	△8	△2.3
(株)東ハト	12,572	12,474	△97	△0.8	870	614	△255	△29.4

(3) 平成26年12月期第2四半期の単体業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

平成25年7月1日付で(株)デイリーヤマザキを吸収合併しましたので、平成25年12月期第2四半期の実績は山崎製パン(株)本体のみであり、デイリーヤマザキ事業の実績は含まれておりません。

① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成26年12月期第2四半期	344,672	9.1	7,062	△17.3	8,801	△17.9	3,756	△39.4
平成25年12月期第2四半期	315,961	△1.1	8,537	△23.9	10,716	△15.7	6,200	△17.2

② 単体販売実績

(単位：百万円)

期別 品種別	前第2四半期 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)		当第2四半期 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	47,621	15.1%	47,946	13.9%	325	100.7%
菓子パン	157,343	49.8	157,034	45.5	△309	99.8
和菓子	31,374	9.9	32,163	9.3	789	102.5
洋菓子	42,039	13.3	41,282	12.0	△757	98.2
調理パン・米飯類	18,245	5.8	17,068	5.0	△1,177	93.5
製菓・米菓・その他商品類	19,336	6.1	18,319	5.3	△1,016	94.7
小計	315,961	100.0	313,815	91.0	△2,145	99.3
デイリーヤマザキ事業	—	—	33,772	9.8	33,772	—
内部消去	—	—	△2,915	△0.8	△2,915	—
合計	315,961	100.0	344,672	100.0	28,711	109.1

③ 単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
平成26年12月期第2四半期	488,086	239,269
平成25年12月期	494,329	237,993

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。